

CASE 2 溶接口ボットの増台により生産性を向上

株式会社 穴田鉄工所 (業種: はん用機械器具製造業)

所在地: さぬき市大川町富田中3188番地の4 電話: 0879-43-3575 URL <http://anada-iw.co.jp>

会社概要

- ボタン機械の製造で培った機械加工技術を活かし、主に建設機械の重要パーツである油圧シリンダ部品の製造加工を行っている。
- 切削から、溶接・研磨・塗装に至る全工程を一貫生産体制で取り組むことで、納期・精度・コスト等の面で他社に対する優位性を確立しており、長年にわたり発注元である大手建設機械用シリンダーメーカーから厚い信頼を得ている。

補助金を活用した取組内容

- 既存の溶接口ボットでは対応できない溶接作業をベテラン作業者が手作業で実施していたが、高性能な溶接口ボットの導入により、大幅な時間短縮と経験の少ない作業者での対応が可能になった。
- また、ベテラン作業者に時間的な余裕ができたことから、導入後の活用が十分でなかったマシニングセンターの本格稼働に向けた作業を進めるなど相乗効果による更なる生産性の向上と売り上げの向上を図る。

導入した設備等の概要

手作業を
効率化する
溶接口ボット

導入前・課題等

- 品物や溶接箇所により、特に溶接作業が難しいものもありベテラン作業者が担当せざるを得ない。
- このような溶接作業に毎月相当の時間を要していた。
- 溶接作業を優先するため、ベテラン作業員が取り組むべき業務改善の作業がはかどらない状況にあった。
【手作業での溶接作業】



作業の専門性と時間短縮が課題

効果・成果

補助金の活用にあたっての参考ポイント

- 工具類や溶接ガスなどの消耗品の高騰に加え、賃上げ対応による人件費の増加や人手不足等で先行きを不安視しており、業務の効率化や属人化の解消を図ろうと検討していたところ、設備投資の支援策であるこの補助金を知り、資金調達の手段として活用したもの。

将来の成長に向けた展望・意気込み

- 積極的に新規開拓の取組みを進めてきた効果もあり、売上は増加傾向にある。社会情勢の変化に耐えうる社内体制の構築に努めるとともに、新規の設備投資や新規雇用、社員への継続的な賃上げ実施など、社内外の満足度の向上を実現していきたい。

導入後・改善・効果等

受注の多様化に対応できる生産体制を整備！

- 溶接口ボットの導入により、毎月の手溶接での作業時間を「84時間→20時間」へと大幅に削減できた。
- 経験の浅い作業者でも対応が可能になり、高度な溶接作業の属人化が解消された。
- ベテラン作業者はマシニングセンターの運用をはじめとした業務改善に時間を充てることで、今後更なる業務の効率化、生産性の向上が期待される。

